

日中二言語で保育をしている 幼稚園における子どもの言語使用 — 5 歳児の言語切替に関する観察事例—

○黄 琬茜 (同志社大学大学院)
山名裕子 (秋田大学)

榊原知美 (東京学芸大学)
和田美香 (東京家政学院大学)

キーワード：言語切替、幼児、文化間移動

目 的

本研究の目的は、文化間移動する子どもが母語以外の言語を獲得していく過程において、周りの人々とどのようにコミュニケーションを取るのかについて、ことばの使用に焦点をあてて実態を明らかにすることである。本研究では特に、多文化状況の保育における、子ども同士の言語のコードスイッチング (以下、CS) が、どのような場面や状況で生じるのかを検討する。

方 法

対象 外国人学校附属の幼稚部 5 歳児 1 クラス (在籍人数 34 名。うち、中華系両親：9 名、国際結婚家庭の両親：7 名)。担当保育者は 2 名で、1 名は日本語が母語であるが、中国語で教育を受けた、日中バイリンガルの日本人保育者であり、もう 1 名は中国語が母語の台湾人保育者であった。保育言語は、日本語と中国語の二か国語で、主に中国語が用いられていた。本研究では、このクラスに在籍している中華系幼児 7 名と国際結婚家庭幼児 1 名の計 8 名を観察の対象とした (表 1)。

表 1 8名の幼児のクラスでの言語の使用状態

クラスでの言語使用	観察対象者 (仮名)
中国語が優位なバイリンガル幼児：	小美、小安
日本語が優位なバイリンガル幼児：	小明、直ちゃん、小徳
主として中国語を使用する幼児：	小宏、小勝、小珠
主として日本語を使用する幼児：	(日本人：愛ちゃん、彩ちゃん)

手続き 8名の幼児について、保育活動に他の幼児や保育者と相互交渉を行う場面、コードスイッチング (CS) を使う場面、状況、話題などを分析した。9:30~13:30までの保育活動を IC レコーダーに録音した。同時に、それぞれの幼児の CS の行動とその時間をメモで記録した。録音データを文字化した時、メモを確認しながら、逐語記録をした。観察期間は、2015年10月下旬から2016年2月下旬まで、計 7 回の観察を行った。観察時間は 1 回約 4 時間であった。

結果と考察

3.1 積極的 CS

具体的な場面や状況における言語 CS を示す。日本語が優位な男児、小明 (仮名) は、観察初日に、BOX-3.1 のように話しかけてきた。この幼稚部の子どもは、初めての人 (観察者) と話すとき、相手の出身や言語を確認し、その相手にあった言語 CS を行っていた。小明の両親はどちらも中国人で、家で中国語でコミュニケーションを取る場合が多かったが、クラスで中国語だけではなく、生活会話の日本語も流暢に話せる。BOX-3.1 のような、文

中コードスイッチング (文中 CS) が起きる状況について、小明の、相手の得意言語による文中 CS 発話の場面がよく見られた。

<場面>	初回観察に行った時、朝、小明はクラスに入って、自分の荷物を棚に置いた後、観察者に挨拶に来た。
小明：	おはよう。
観察者：	おはよう。
小明：	新しい先生？
観察者：	いいえ。
小明：	どこから来たか。
観察者：	台湾から来たよ。
小明：	你來這裡做什麼？ (何しにここに来たか)
観察者：	我來看大家怎麼上課的。 (皆の授業の様子を見に来たんだ)
小明：	為什麼？ (どうして？)
観察者：	因為要做研究阿。 (研究するため)

BOX-3.1 積極的CSにおける文中CSが起きる発話例

一方、小明は、日本語が優位である男児、直 (仮名) と話すとき、最初は 2 人とも日本語を使用するが、途中、わからない日本語があれば、急に中国語の単語に入れ替え、その後また日本語が続くという言語の文間コードスイッチング (文間 CS) が多く見られた (BOX-3.2)。

<場面>	休憩時間で、小明と直ちゃんは玩具をもちながら、お互いに追いかけて…
小明：	僕の方が強い、ハハハ (自分の玩具の戦力の方が強い)
直ちゃん：	違うんだ!! 僕の方が… (しばらく互いに追いかけている途中、急に他の話題を変えた)
小明：	昨日、お母さんは僕に、あれは挖土機 (土を掘る道具) だって。
直ちゃん：	ハハハ~挖土機 (土を掘る道具) だって。
小明：	そうだよ。ハハハ~挖土機 (土を掘る道具)。

BOX-3.2 積極的CSにおける文間CSが起きる発話例

3.2 消極的 CS

観察期間に、中国語しか話せない女児、小珠 (仮名) が転入してきた。小珠は、クラスの子どもから話しかけられた時、中国語で話していいと要求して、日本人の幼児は頑張って中国語を使って話してくれた、という場面がよく見られた (BOX-3.3)。

<場面>	転入したばかりの小珠は、自分の顔を作る図画工作の時間で、他の日本人幼児と接した場面。(4人を1組にわけ)
<着席後>	
愛ちゃん：	今、皆、これ (カラーペン) を取りに…
小珠：	你說中國話行不行？ (中国語で話していい？)
愛ちゃん：	(うなづいている) …拿彩色筆 (カラーペンを取る)
小珠：	好。 (はい) (←その後自分の棚へ取りに行って…)
<途中>	
小珠：	你不是中國人？ (中国人ではない？)
愛ちゃん：	(うなづいている) 這個… (この…) (←このノリを使って)
<終わったら>	
彩ちゃん：	去洗手 (手を洗いに)
小珠：	(うなづいている)

BOX-3.3 消極的CSにおける文間CSが起きる発話例